

一般質問



あおき としこ
青木 利子



身近な行政

Q 町民が行政を身近に感じられる政策をどのように考えるか。

A 町長 おでかけ町長室や各種検討委員会議などで住民意見を踏まえ、政策を進めていく。

Q 町内企業と就職希望者とのマッチング制度の導入は。

A 町長 雇用情報の提供や発信をする中で「地方版ハローワーク」のような制度の確立を研究する。

やまびこの会紹介

Q 音訳ボランティアグループ「やまびこの会」の活動や、録音図書が一般町民も活用できることを周知して欲しい。

A 教育こども課長 活動状況や利用方法を掲載したパンフレットを、諏訪地域6市町村の社会福祉協議会や福祉施設に配布。「ク

住民の声どう 聴いていくか

答弁 今後も住民の声を聴く場づくりを

「ズアツプしもすわ」にも掲載。

旧矢崎商店の価値は

Q 旧矢崎商店の調査研究は。

A 町長 信州大学の協力で建物調査が進んでいる。登録有形文化財指定に向けた客観的な価値づけの根拠や、文化的価値を考慮した改修方針を判断するための重要な材料とする。



信大生による旧矢崎商店の調査報告



議会と各種団体との懇談会



ままのわ子育て応援フェス

11月24日(日)下諏訪総合文化センターにて開催された、信州ままのわ主催「子育て応援フェス」内の企画で、子育て世代の方々と議員との懇談会に、議員有志6名が参加しました。

子育て世代の方々に、最初に議会の仕組みについて等を簡単にお話した後、3つのグループに分かれ、子育てに関する悩み事や町の「こうなったらいいな」を全員で付箋に書き出して、テーマごとに活発な懇談が行われました。

出された主な意見は、子どもの居場所づくりや保育園の育休退園・保育士待遇是正・病床保育などについて、小学校、学童、不登校支援、給食や医療費などについてが挙げられました。

町長にも議員と一緒に参加していただきました。

子育て当事者の貴重な声を聴くことができ、ご意見を参考に12月定例会の一般質問にて、町に問いかける議員もいました。

町民にとって、議会や町が少しでも身近な存在と感じていただくように、今後も積極的に出向く機会を作っていきたいと思えます。



議会と各種団体との懇談会

10月4日(金)町役場全員協議会室にて、ものづくり支援センターしもすわ細谷理事長以下5名の役員と懇談会を開催しました。

ものづくり支援センターしもすわは、下諏訪のものづくりの支援・連携・情報発信のための拠点として事業を行っています。町内企業をひとつの会社「株」下諏訪」と考え、様々な企業や組織をひとつの会社のように連携・機能させ、下諏訪のネットワークで「ものづくり総力体制」を構築しています。町内企業の特徴は、石器時代の黒曜石の加工技術から始まり、戦前戦後は蚕糸産業、その後精密微細加工ともものづくりの分野で発展し、高度でユニークな技術を持つ中小企業が156社集積しているとのこと。

センターの主な活動は、受発注拡大サポート事業として、マッチング案件紹介、展示会出展支援、商談会参加支援を行っています。また情報発信・情報収集活動としては、DX化推進支援や企業動向調査を行っています。

昨今製造業を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあり、景気の悪化と深刻な人材不足に対してどのような支援が出来るかがテーマとなっており、外国人の積極採用や移住者向けの企業紹介等の取り組みについて活発な議論が交わされました。



ものづくり支援センター

10月8日(火)町役場全員協議会室にて、(一社)下諏訪町地域開発公社観光振興局との懇談会を開催しました。

観光振興局は、開発公社内に観光に特化した組織として平成23年度に立ち上げられ、その後「地域の稼ぐ観光」を實踐する組織として、令和3年度から観光推進部を設置し、主に収益事業である下諏訪発着の旅行企画「着地型旅行商品」の実施に取り組んでいます。本年度は、第3次観光振興計画で掲げる「住んでよし、訪れてよしの観光都市しもすわへ」の実現を目指して、観光を担う人材育成や、この地域の魅力を活かした高付加価値な旅の提案を行っています。

「あなたの旅をデザインする」をテーマに、下諏訪町を中心とした、町を学び楽しむことができる観光体験プログラムやツアー等の商品企画・販売をします。今後は、新たな観光振興計画への理解・協力を得て、観光による持続可能な地域づくりを目指します。

収益のみを目指す観光だけではなく、公益的な事業も行う持続可能な観光・地域づくりの為に何が必要か、人材不足に対する育成はどうするか、町内の旅行会社との連携や観光・温泉は下諏訪、宿泊は諏訪、農業体験は茅野・原村といった広域的な連携の可能性や黒曜石繋がりでの長和町との連携といった取り組みについて議論が交わされました。



下諏訪町地域開発公社観光振興局

11月11日(月)町役場全員協議会室にて、下諏訪商工会議所との懇談会を開催しました。

商工会議所は、令和7年度に向けて地域の課題解決支援として、地域経済対策事業及び産業振興・地域活性化対策を促進するため9項目・29事業について町に要望を上げています。懇談会では、特に強い要望がある町の産業振興や観光振興、成長性が高いIT企業等の積極的な企業誘致についての意見交換がありました。

産業振興をテーマにした際には、「町の魅力をPRするという観点からは『稼ぐ観光』に力を入れるというのも分かるが、実際町の収益源は主に『工業』が担っていることを勘案すると、工業にもっと財源配分を行うべきではないか」という意見がありました。観光振興では「後継者難の既存の観光業者に対して、第三者への事業承継も含めた対応が必要ではないか」との意見がありました。

企業誘致では、「少ないスペースで若い人達を雇用でき、付加価値の高いアウトプットが可能なソフトウェア産業の誘致が必要」との意見がありました。



下諏訪商工会議所